

■平和都市宣言 市民意見 検討表

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方	第8回での意見	第9回の検討結果
文量等	全体	97	文量	○より短くすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長くてくどくならないようにする。様々な思いは、説明文をつくって示せば良い。</li> <li>・この宣言をするのは、このような風土の中で生活を営み、世界の恒久平和を目指す高山市民であることを記している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さらに国際平和デー ～ 訴えています。」を削除してはどうか。上の文章とギャップがある。平和の日を制定して、まだ3年であり、日が浅く、世界に訴えているとまでは書けないのでは。</li> </ul>	
	⑨	24		○高山市の紹介部分を、少し控えめにすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の紹介部分は、高山市らしさ、高山市の良さ、厳しい自然、周りとのつながり、人々の営みを入れたい。例えば、雪が降ったときには、隣の家の分まで少し除雪してあげるといった温かいつながりを入れたい。この部分は、大事にしたい。</li> <li>・高山市の平和への取り組みとして、「高山市平和の日」を制定したことを明記した。</li> </ul>		
	⑧⑬	20	文言(世界へ発信)	○市民の平和への行動について、対外的にアピールする部分を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、日本国民、世界の人々になるほどと思える平和宣言にしたい。</li> <li>・平和への取り組みとして、「高山市平和の日」を制定したことを記載。</li> </ul>		
	⑧⑬	21	文言(世界へ発信)	○戦争をしているところに訴えかける文章を入れること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の三つの行動を記載。</li> <li>・宣言は、自分(高山市民)の決意を、外に向けて発信するもの。</li> </ul>		

■平和都市宣言 市民意見 検討表

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方	第8回での意見	第9回の検討結果
分かりやすさ等	全体	94	分かりやすさ	○(子どもには、)難しい。子ども向けに、より簡単な言葉を使用すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言文は、子どもも読むものであるため、あまり難しい文章としない。様々な思いは、説明文をつくって示せば良い。</li> <li>・形容詞は極力、省き、簡潔な方が子どもたちの理解が深まる。</li> <li>・三つの行動のところは、子どもたちも唱和しやすいし、理解できるだろう。</li> <li>・最初からこうですと限定するよりも、自身で拡大、イメージできる文章としたい。そういう子どもを育てていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言文について、家族で話し、行動する機会としてほしい。また、より具体的にすることで、市民の行動を限定してしまう。読んだ人の感性に訴えたいため、解説は不要。</li> <li>・子ども向けに、別に、解説版を作成してはどうか。</li> </ul>	
	全体	95	分かりやすさ	○子ども用の宣言を作成すること。			
	全体	96	分かりやすさ	○子ども達に分かるように、絵を添えること。			
	⑧	16	分かりやすさ	○「恒久平和」という言葉が難しいため、別の言葉に言い換えること。			
	⑩	30	分かりやすさ	○「脅威」という言葉は難しいため、別の言葉に改めること。			
	⑳	86	分かりやすさ	○「市制施行」との言葉は、難しいため、別の言葉に改めること。			
	⑲	83	文章表現	○倒置法に違和感がある。普通の文章とすること。朗唱しにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三つの行動のところは、子どもたちも唱和しやすいし、理解できるだろう。</li> <li>・文の順番を、「私たちは〇〇します。△△を。」としているのは、△△の部分強調するため。</li> <li>・この宣言を外国語に翻訳することを想定しても、こちらの方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗唱について、市民憲章とは、性質が違うため、現状で良いのでは。</li> </ul>	
	⑲	84	体裁	○行動を示す文章について、分かりやすくするため、最初の文と後の3つの文の間に、空欄を設けたり、「」をつけたりすること。			

■平和都市宣言 市民意見 検討表

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方	第8回での意見	第9回の検討結果
具体性等	⑧	15	具体性	○「世界に向けて恒久平和の実現を訴えています」を具体的な表現にすること。			
	⑱	79	具体性	○具体性がない。どう行動すれば良いかを示す内容(指針)を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の平和への行動を促す宣言となるよう作成。</li> <li>・最初からこうですよと限定するよりも、自身で拡大、イメージできる文章としたい。そういう子どもを育てていきたい。</li> <li>・実際の行動につながる宣言としたいという思いがあり、「伝えていきます」、「守り続けます」、「大切にします」の3つの行動を挙げている。</li> </ul>		
	⑱	80	具体性	○自然や文化、人との絆、多様な文化を尊重するだけでは、平和は守れない。これ以外の取り組みを記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つ目は、市民意見の中で、世界平和の実現には、戦争をなくし、平和の大切さや戦争について学ぶ・伝えることなどが必要との意見が約4割を占めたことから、人類の一員として取るべき行動として示した。</li> <li>二つ目は、市民意見の中で、普段の日常に平和を感じるとの意見が約5割を占めたことから、自然環境、先人から受け継ぐ伝統文化、人と人との絆を守ることが、高山市民の普段の日常には欠かせないものであると考え、高山市民の取るべき行動として示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言文について、家族で話し、行動する機会としてほしい。また、より具体的にすることで、市民の行動を限定してしまう。読んだ人の感性に訴えたいため、解説は不要。</li> </ul>	
	⑱	81	具体性	○絶対、戦争をしないという意志表明を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>三つ目は、市民意見の中で、世界平和の実現には、交流・相互理解・尊重などが大切との意見が約4割を占めたことから、国内外から多くの観光客をお迎えする高山市民として、多様な人々と交流し、より一層、その文化を理解・尊重していくことが必要と考え、高山市民の取るべき行動として示した。</li> </ul>		
	⑱	82	行動制限の懸念	○市民の行動として示している文章を、市民の平和への行動を制限しないものとする。			

■平和都市宣言 市民意見 検討表

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方	第8回での意見	第9回の検討結果
文言等 (市の紹介)	②	1	文言(飛騨山脈)	○高山市の豊かな自然の代表として、荘川地域からは「飛騨山脈」が望めないため、「白山連峰」を加えること。	・「代表される」という文言を使用し、「飛騨山脈」以外へ配慮した。	・飛騨山脈以外にも、白山、御嶽山などが考えられるが、「飛騨山脈に代表される」としているため、現状で良いのでは。	
	③⑬	4	文言(豊かな自然)	○高山全域が、自然が豊かなわけではないし、昔と比べても、自然が減っているため、高山の自然を、「豊か」と形容しないこと。	・高山市民は、素晴らしい自然を大切にしてきた。		
	③	5	文言(豊かな自然)	○「豊かな自然に囲まれ」は、単に位置的表現であるので、「豊かな自然に恵まれ」もしくは「豊かな自然に包まれ」とすること。		・「豊かな自然に恵まれ」としてはどうか。	
	⑤	10	文言(国際観光都市)	○観光都市は、高山の一部の地区のみ。また、「国際観光都市」だから平和宣言するとの印象があるため、「国際観光都市」の表現を見直すこと。	・高山市らしい宣言文となるように作成。 ・多くの方に高山市を訪れていただいているのは、高山市民が、多様な文化を理解し、尊重している結果だと思う。	・観光資源は、街中だけではない。国際観光都市であることは、高山市の大切な部分で、高山市全体が、国際観光都市として、人との繋がりを大切にしていきたい。現状で良いのでは。 ・国際観光都市だから宣言するのではない。国際観光都市とすると、観光客に来ていただきたいので宣言すると受け取られる懸念がある。文化があって、その結果、観光がある。	
	⑤	11		○『国内外の多くの人々に愛される「国際観光都市」』とすること。 ・真の国際観光都市とは、単に誰かが来て、何かを見て、買って、帰っていただくだけではなく、そこに、人々との交流、思いを知るといった部分がないと本当ではない。			
	⑨	22	文言(国際文化都市)	○観光に偏重しているため、「国際文化都市」などの面について、記載すること。 ・観光客は、高山と違う文化の方。そういった異文化の方を理解し、尊敬し、知ることが大切。 ・人の心を豊かにする文化が大切。			
	⑥	12	文言(周りとのつながり)	○「周りとのつながり」について、詳しく記載すること。 ・高山市民は、素晴らしい自然や伝統文化とともに、地域の人や高山市を訪れる人とのつながりなどを大切にしてきたことから、「周りとのつながり」という文言を入れた。 ・「周りとのつながり」は、人と自然、異文化交流を想起させるので、ここも考えさせる良い文言。「おもてなしの心」もここに含められる。			
	⑥	13	文量	○文の流れをスムーズにするため、「周りとの」を削除すること。 ・戦後の苦しかったとき、周りの人の親切に助けられた。昔の結の助け合いの精神を次世代に引き継いでいくことが大切。			
⑦	14	接続詞	○「さらに」を、「また」などの別の接続詞に改めること。 ・周りとのつながりを大切に暮らしており、さらに「高山市平和の日」を定めて、世界に向けて恒久平和の実現を訴えているということを強調するため、「また」ではなく、「さらに」とした方が良い。		・現状で良いのでは。		

■平和都市宣言 市民意見 検討表

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方	第8回での意見	第9回の検討結果
文言等（世界の現状）	⑩	31	文章表現	○「紛争・テロ・飢餓」と「核兵器の脅威」が、はっきりと並列に読めるよう、文章を改めること。			
	⑩	32	文言（争い）	○内紛、テロ、核、差別、犯罪などは、人間の利己的な争いが原因であるので、「争い」という言葉を記載すること。			
	⑩	33	文言（個人主義）	○核兵器だけが脅威ではないため、「個人主義的な考え方が脅威」であることを記載したい。	<p>・高山市民は、素晴らしい自然や伝統文化とともに、地域の人や高山市を訪れる人とのつながりなどを大切にしてきたことから、「周りとのつながり」という文言を入れた。</p> <p>・市民意見の中で、世界平和の実現には、交流・相互理解・尊重などが大切との意見が約4割を占めたことから、国内外から多くの観光客をお迎えする高山市民として、多様な人々と交流し、より一層、その文化を理解・尊重していくことが必要と考え、高山市民の取るべき行動として示した。 「私たちは大切にします。多様な文化を理解し、尊重することを。」</p>		
	⑩	26	接続詞	○「しかし」を削除すること。	<p>・「しかし」で接続されている2文は、世界に向けて恒久平和の実現を訴えているが、世界は、未だ、平和ではないという意味の2文であるので、先の話の内容を受けて、それと反対または一部違う事を述べる接続詞「しかし」を使用。</p>	・現状で良いのでは。	

■平和都市宣言 市民意見 検討表

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方	第8回での意見	第9回の検討結果
平和の定義等	⑧⑪	17	文言(平和の定義)	○高山市が目指す「平和」が記載されていない。また、戦争が無いことが、平和ではない。「平和の定義」について考え、記載すること。		(安心して平和幸せに暮らせる日常が必ず来ることを願い……。必ず、少し強い表現なので削除したい。平和の定義として、「平和」を「安心して幸せに暮らせる日常」としてはどうか。)	
	⑪	46	文言(平和の定義)	○私たちは世界中の誰もが、安心して、幸せに、そして平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。」とすること。	・大きい平和、足元の暮らしの平和、様々な思いを盛り込む必要がある。 ・市民意見では、普段の日常、日々の生活の安寧に平和を感じているとの意見が多かった。これは、「私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します」で反映した。		
	⑪	47	文言(平和の定義)	○「私たちは、世界中の子どもたちが、大人たちが安心して平和に暮らせる日の実現のために」とすること。	・戦争、貧困、差別がないのが平和の大きな条件。 ・最初からこうですよと限定するよりも、自身で拡大、イメージできる文章としたい。そういう子どもを育てていきたい。		
	⑩⑱	42	文言(差別)	○もう少し身近な問題である「差別」について記載すること。			
	⑪⑱	45	文言(普段の日常)	○世界平和は大切だが、我々の普段の生活が平和の原点。「普段の日常」、「家庭の平和」について記載すること。		・文中「私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します」に含まれるため、現状で良いのでは。	
	⑩⑱	43	文言(いじめ・暴力)	○身近な小さな戦争(いじめ、暴力)を失くすことが平和につながるため、「いじめ、暴力」について記載すること。		・誇れる伝統文化と多様な文化の尊重の整合、人権・いじめの事を考慮し、「私たちは大切にします。多様な文化を理解し、尊重することを。対話を通じ、多様な価値観を理解することを」としてはどうか。	
	⑭	57	文言(人権)	○生存権が尊重されていることが基本であるので、「人権等」について記載すること。	・人権については、「命の大切さ」で表現。		
	⑱	82	行動制限の懸念【再掲】	○市民の行動として示している文章を、市民の平和への行動を制限しないものとする。			
	⑪	48	文章表現	○「平和に暮らせる日が必ず来る訪れる」とすること。		・「訪れる」としたらどうか。	
	⑪	49	文章表現	○「願う」ではなく「信じ」とするか、または、「必ず」を削除すること。			

■平和都市宣言 市民意見 検討表

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方	第8回での意見	第9回の検討結果
文言（核・核兵器）	⑩⑬	39	文言（核、核兵器）	○高山市として、これまで、核兵器について、それほど、考えてきていないため、高山市の平和宣言として、「核兵器」について記載することは適当ではないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦争と核兵器」については、平成27年度開催の「高山市平和サミット」で、広島市長と長崎市長にお越しいただき、示唆に富むお話を頂戴したため、入れたい。</li> </ul>		
	⑩⑬	37	文言（核、核兵器）	○核兵器について、広島や長崎のことを触れること。			
	⑩	34	文言（核、核兵器）	○核兵器の脅威は、具体的すぎて、特定の国を連想させるため、修正すること。			
	⑩	35	文言（核、核兵器）	○「抑止力によって保たれる平和は、真の平和ではない」ことを記載すること。			
	⑩⑬	36	文言（核、核兵器）	○「核兵器」に限定せず、原子力発電を含む「核」の脅威を踏まえた内容とすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島での原発事故をきっかけに、核の平和利用への不安が広がったことから、「核の脅威」とすることも検討した。しかし、多くの国々が核の平和利用を行っていることを踏まえ、「核兵器の脅威」に絞った。</li> <li>・「戦争と核兵器」という文章なので、核兵器とした方が良いのではないか。</li> <li>・核がコントロールできていない現状も、勿論、認識すべきだが、核兵器の脅威が増している現状を踏まえ、核兵器と明確にするのが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文案は、核兵器の脅威を強調しているが、検討した方が良い。</li> <li>・議論した結果なので、現状で良いのでは。</li> </ul>	
	①⑩⑬	38	文言（核、核兵器）	○核について、更に強調（核兵器廃絶、非核、非核都市宣言）すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核兵器廃絶に特化した内容ではないため、「高山市平和都市宣言」という、いずれにも偏らない名称が適当。</li> </ul>		

■平和都市宣言 市民意見 検討表

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方	第8回での意見	第9回の検討結果
文言（市民の行動）	⑫	54	文言（現在）	○今を大切に、しっかりと未来につなげていく必要があるため、過去と未来だけではなく現在について記載すること。	・市民意見の中で、世界平和の実現には、戦争をなくし、平和の大切さや戦争について学ぶ・伝えることなどが必要との意見が約4割を占めたことから、人類の一員として取るべき行動として示した。 「私たちは過去から学び、未来へ伝えていきます。戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを。」		
	⑬	56	文言（愚かさ）	○愛する人を守るために戦った人もいるから、「愚かさ」を修正すること。	・市民意見の中で、世界平和の実現には、戦争をなくし、平和の大切さや戦争について学ぶ・伝えることなどが必要との意見が約4割を占めたことから、人類の一員として取るべき行動として示した。 「私たちは過去から学び、未来へ伝えていきます。戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを。」		
	⑬	9	文言（戦争と～命の大切さをの順番）	○戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを」の順番		・命の大切さを強調したいため、現状で良いのでは。	
	⑮	58	文言（自然環境保護）	○戦争がなくなっても、地球を守る行動がないと安心して暮らせない。自然エネルギーの推進、環境を守る取り組みを記載すること。	・普段の日常に平和を感じるとの意見が約5割を占めたことから、自然環境、先人から受け継ぐ伝統文化、人と人の絆を守ることが、高山市民の普段の日常には欠かせないものであると考え、高山市民の取るべき行動として示した。 「私たちは守り続けます。豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人の絆を。」		
	⑯⑰	59	文言（誇れる伝統文化）	○「自分たちの文化を誇る」ことは、他文化の排除になる恐れがあり、「多様な文化を理解」と矛盾するため、「誇れる」を削除すること。	・「豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人の絆を」は、高山市らしい。	・誇れる伝統文化と多様な文化の尊重の整合、人権・いじめの事を考慮し、「私たちは大切にします。多様な文化を理解し、尊重することを。対話を通じ、多様な価値観を理解することを」としてはどうか。【再掲】	
	⑱	60	文言（文化の尊重）	○多様な文化による争いを含めて尊重すると読み取れる。また、人権侵害につながるような、受け入れ難い文化も存在するため、「尊重」を削除、もしくは、「対話」に置き換えること。	・多くの方に高山市を訪れていただいているのは、高山市民が、多様な文化を理解し、尊重している結果だと思う。		
	⑳	85	文言（80周年）	○「80周年」は、宣言に関係ない。また、80周年記念で行ったと、宣言が軽んじられる懸念があるため、「市制施行80周年」を削除すること。	・いつ宣言したかが後々伝わるように、「市制施行80周年」と明示する。	・今後、いつ作成したかが分かるように、現状で良いのでは。 ・基本的には「80周年」は、必要でないと思うが、全体での再検討が必要である。（修正意見が多い）	
	⑳	90	文章表現	○主語をはっきりさせるため、「永久に平和都市」の主語として、「高山市」を追記すること。		・「高山市民は、高山市が永久に平和都市であることを宣言する。」としてはどうか。	